

日本画の絵の具や金ぱくなど、日本画材にふれるワークショップ

春色を作って描こう!



日本画材体験



はるいろ

令和7年

3月15日(土)

午後1時30分～ 3時30分

日本画の絵具は古くから使われ、長い歴史があります。たとえば白色の「胡粉」という絵具は、ひな人形の顔やお寺などの古い建物をぬるときにも使われています。

今回は岩絵の具を使って、あなたの春の思い出を色にしてみましょう。さまざまな色を使って自分だけの小さなオブジェをつくります。絵が苦手な人でも大丈夫、楽しく日本画の絵の具に触れてみましょう!

講師：美術作家 藤野裕美子 氏
参加費：800円 (材料費)
定員：15名 (申込先着順)
持ち物：汚れてもよい服装またはエプロンなど
作品を持ち帰るための袋
場所：てんびんの里文化学習センター
多目的研修室



美術作家
藤野裕美子

古い建築物の中に残されている家財道具や日用品を選び出し、それらをランダムにつぎはぐようにして描く。モノが持つ歴史的背景や個人のエピソードに触れながら、自身との関係を探る。平成29年から中路融人記念館で日本画材を用いたワークショップを毎年開催。

2013年 京都精華大学 大学院芸術研究科 博士課程前期 日本画専攻 修了

2021年滋賀県次世代文化賞受賞 2022年東近江市文化賞受賞

2025年「Kyoto Art for Tomorrow 2025 京都府新鋭選抜展 産経新聞社賞」受賞

2023年「とぎれる／つづける 藤野裕美子 個展」ギャラリー恵風(京都)など

【お申込み・お問合せ】

東近江市近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 東近江市五個荘竜田町 583(てんびんの里文化学習センター内)

Tel 0748-48-7101 Fax 0748-48-7105 IP 050-5802-3134 ※休館日:月曜日、祝日の翌平日